

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

各地区まちづくり委員会の皆様のご理解とご協力により、令和6年度の議会報告・意見交換会を盛会に開催することができました。誠にありがとうございました。
10月3日(木)から11日(金)までの間に、市内8会場で開催した議会報告・意見交換会には、545人の皆様にご参加いただき、1,388件のご意見・要望等をいただくことができました。

今回、市議会において「年度末までに回答を行う」とした項目についてお答えいたします。

皆様からいただいた貴重なご意見等を政策立案・提言へと結び付けてまいります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

<開催会場順>

No.	会場	担当 委員会	議会報告・意見交換会における意見等	回答(所管委員会にて執行機関側への聞き取り等により作成)
1	遠山	産建	・合併の時に6千町歩の山が市有林となった。森林組合に確認したところ、伐期を迎えているとのこと。地元には木材会社もあるので、林業は地域内経済の循環にも貢献できることから事業化してほしい。	地域内経済の循環を考えた時、森林資源は飯田市の財産と認識しており、議会としても調査・研究をさせていただきます。いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・上村、南信濃地区の市有林については、大半が森林整備センターと分収造林契約を結んでいる山林であり、契約に基づいた森林施業を進めています。 ・分収造林地以外では、豊川水源林対策事業を活用した森林施業を行っています(5ヶ年計画で現在9期目)。 ・また、現在南信濃地区内において架線集材の実証実験を行っており、この結果を踏まえた支援策を今後確立していきます。 ・さらに、令和7年度にしらびそ高原周辺の天然林を対象としたJークレジットの登録にも取り組んでいます。 ・今後も森林組合と連携し、適地を選定しながら、飯田市森林整備計画に基づき積極的に搬出間伐や主伐・再造林を行います。【飯田市林務課】
2	遠山	産建	・林業関係には、より専門的な市の職員が必要。市のリーダーシップに基づき森林組合と連携した木材資源の活用を積極的に進めてほしい。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・現在、専門的な見地と豊富な経験を有する「地域林政アドバイザー(飯伊森林組合に委託)」を活用し、森林整備の集約化、団地化を目指して取り組んでいます。 ・併せて地域おこし協力隊制度を活用した人材確保についても今後検討してまいります。【飯田市林務課】

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

3	遠山	産建	・下栗の農産物はすべて美味しい。キャベツは特に美味しい。コンニャクは芋からつくっているのも、これも美味しい。こねたソバで塩サンマをくるみ、灰で蒸し焼きした冬季限定の「そば団子」は、獨協大学の乾さんという学長さんが「また食べたい」とみえて、3個も4個も食べていった。こうしたものをブランド化したい。多くの人に知ってほしい。問題は、生産者が高齢化して少なくなり、量も少なくなっていること。難しいところにある。早くブランド化したい。	議会としても、更なるブランド化の取り組みとして、地域資源を活用した新たな商品のブランド化にチャレンジできるような仕組みの検討が必要と考え、委員会として提案を行いました。いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、現時点では次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・農産物のブランド化には作り手をはじめとした安定的な生産体制、流通、販売先の確保等の課題を解決する必要があります。ブランド化の方向性につきましては、飯田市農業振興センター、各地区農業振興会議と連携して取り組みたいと考えています。 ・補助事業として、飯田市農業振興センター事業では地域農業振興活動支援補助金を用意しています。また、下栗地区につきましては、市の主要観光の一つである段々畑を守り、農村風景の維持と活用を目的に中山間地域農業振興事業負担金を交付していますので、ご活用をご検討ください。【飯田市農業課】
4	遠山	産建	・囲炉裏にこだわりながら、ジビエ料理をやっている。野生の動物はくせがあると言われているが、シカの肉はヘルシーで女性に人気。これでやっていこうと決めたので、食肉の処理場を設けて猟師から仕入れている。販路を拡大すれば、まだまだやっていけると思う。始めて19年になる。トンネルが供用開始になった時の受け皿になりたいと頑張っているが、飯田の方は私のこうした取り組みを知らない。こちらの責任もあると思うが、飯田の方に来てほしい。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・遠山郷の名物としてジビエ料理の提供による観光誘客への長年の取組に敬意と感謝を申し上げます。 ・三遠南信自動車道(仮称)青崩峠トンネルの開通及び道の駅遠山郷のグランドオープンにより人の流れは大きく変わるものと予想されます。 ・道の駅遠山郷は遠山地域だけではなく飯田市全体の財産ですから、広く市民の皆様に寄っていただき、また、地域外に対してジビエ料理を知っていただけるよう今まで以上の情報発信に努めます。【飯田市遠山郷観光振興室】
5	遠山	産建	・下栗の地域資源と観光にもっと目を向けてほしい。地元の保存会がビューポイントと遊歩道を整備しているが、高齢化している。以前は3カ月に一度補修をしていたが、今では1年に一度くらいしかできない。「引越しのサカイ」の宣伝効果があったが、今は中だるみしている。今後、下栗はなくなっている。高齢化が進み、畑仕事ができなくなっていくと、あの景	下栗の里は、飯田市の貴重な観光資源と認識しており、議会としても調査・研究をさせていただきます。いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・遠山郷観光振興ビジョン・戦略計画において、遠山地域の観光拠点を道の駅遠山郷、しらびそ高原、そして下栗の里と明確に位置づけ、その拠点を軸とした誘客活動

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

			観は維持できなくなり、あそこは山になる。飯田市は下栗をないがしろにしているように感じる。中電が力を貸してくれる動きがあるが、その前に飯田市に力を貸してほしい。飯田市は下栗を見直し、もっと力を入れてほしい。 ・下栗に「天空のテラスモール」を設けたらどうか。白馬の例を参考に合成写真をつくったので、皆さんに提案したい。協力をいただきたい。	に取り組んでいます。 ・遠山郷観光協会等と連携して、地域の皆様にもご理解ご協力をいただきながら体験交流メニューなどの造成を行い、地域経済が元気になるような滞在交流型観光の推進に取り組んでまいります。【飯田市遠山郷観光振興室】
6	遠山	産建	・南アルプスは人の手が入っていない山なので、そこに魅力を感じた人たちが南信濃に来てくれている。観光に活かすことができるので、ルートの確保を早くしてほしい。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・日本百名山を有する南アルプスの登山客は年々増加傾向にあります。 ・一方で、脆弱な地盤のため豪雨災害等により通行止め等も頻繁に発生し、その対応が課題と捉えています。関係機関とも連携する中で、早期復旧に努めます。【飯田市遠山郷観光振興室】
7	遠山	産建	・駐車場に入りきれないほど、南アルプスの登山者が来ているが、登山者用の駐車場は狭くて車がはみ出している。道路整備と合わせ、応援をお願いしたい。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・登山シーズン中は駐車しきれないほどの車両が流入し、市道上にも駐車している状況が発生していることは認識しています。 ・登山者の安全安心の確保や流入車両抑制による脱炭素化を目指し、登山口までの二次交通(登山バス)の運行構築に向けて調査・研究に取り組みます。【飯田市遠山郷観光振興室】
8	遠山	産建	・豪雨災害により芝沢ゲート駐車場までマイクロバスが行けないことから団体の登山者を受け入れない状況。100人以上がキャンセルになった。影響が出ているので、災害復旧を早めにしてほしい。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・市道上村3号線の復旧については、令和7年5月末に復旧工事が完了する予定です。

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

				・県林務課では、令和 7 年 4 月に市道下の治山事業施工業者が決定するよう事業を進めています。 ・林道赤石線復旧については、県林務課における治山工事完了後に復旧工事を予定しています。 ・3 月 14 日にナギナカ崩落の復旧及び下栗地区の地滑り対策工事について説明会を実施予定です。【飯田市土木課、林務課】
9	遠山	産建	・現在、芝沢ゲート駐車場までジャンボタクシーが運行できている。大蔵喜福さんがトイレをつくってくれたり、自販機を設置してくれたので、使い勝手もよくなったと思う。長い間閉鎖していた聖光小屋を管理する人が現れたので、登山者が増え、7 月から 9 月は賑わった。 ・しかし、かつては聖光小屋まで車で行け、キャンプ場もあるが、降雨災害により通行不能となっている。南アルプス登山に着目して、道の整備に力を入れてほしい。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・市では、南アルプスエコ登山を楽しんでいただけるよう、令和6年度に芝沢ゲートに2基、易老渡に1基エコトイレを設置しました。 ・芝沢ゲートから登山口までは落石等危険箇所も多く安全が確保できないことから車両通行止めとしていますが、二次交通(登山バス)の運行構築によりさらに快適なエコ登山を楽しんでいけるようまずは調査・研究に取り組みます。【飯田市遠山郷観光振興室】
10	遠山	産建	下栗地区の観光整備をお願いします。	下栗の里は、飯田市の貴重な観光資源と認識しており、議会としても調査・研究をさせていただきます。いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・遠山郷観光振興ビジョン・戦略計画において、遠山地域の観光拠点を道の駅遠山郷、しらびそ高原、そして下栗の里と明確に位置づけ、その拠点を軸とした誘客活動に取り組んでいます。 ・遠山郷観光協会等と連携して、地域の皆様にもご理解ご協力をいただきながら体験交流メニューの造成などを行い、地域経済が元気になるような滞在交流型観光の推進に取り組んでまいります。【飯田市遠山郷観光振興室】
11	遠山	産建	非常に良い報告会と第3分科会でした。もっと時間がほしいくらいでした。	議会報告・意見交換会にご参加いただき、ありがとうございました。皆様からいただいた貴重なご意見等を政策立案・提言へと結び付けてまいります。 引き続き議会へのご理解をお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】
12	松尾	産建	・市立病院東側(八幡町 419 付近)の国道 153 号と	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答があり

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

			歩道の間の植栽の草刈りをしてもらいたい	ましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・地元からも同様の要望を受けており、飯田国道事務所維持出張所へ作業依頼し実施済みです。【飯田市国県関連事業課】
13	松尾	産建	・デジタルへの取り組み(ふくまるくん)は、意識のある方が使用しようとしても加盟店舗が少ない。 ・若い年代は、傾向として大型店へ行って買い物をする。結果、地域通貨も広がり難いのではないかな。 ・年代層を考えて買い物への意識のバランスをどう地域通貨へ反映しようとしているのか。見えてこない。	地域内経済の循環を考えた時、地域通貨は重要な視点と考えていますが、一方で加盟店舗数や利用者数等の課題もあると認識しています。議会としても調査・研究をさせていただきます。いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・地域ポイント付与による地域通貨実証実験は、2万3千人超の市民が加入し、コスト抑制、効率的な実施が見込めるふくまるくんカードを採用し実施しています。 ・加盟店舗拡大や地域通貨の意義を広く訴求し多様な世代の利用を促すとともに、地域経済循環につながる消費行動の定着などの効果を検証し、今後のあり方を検討していきます。【飯田市商業観光課】
14	鼎	産建	・遠山郷の赤石銘茶は、全国区になり得ると思うが、ペットボトルで「緑茶」として自販機で販売しているが市内での販売箇所が少ない。市の施設や公民館などで販売は進んでいるか。また、集会や集まりで提供する考えはあるか。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・赤石銘茶のペットボトルの販売は JA みなみ信州が行っており、販売先等の検討も JA みなみ信州が行っています。 ・赤石銘茶につきましては、長野県茶振興協議会を中心に高品質で特色のある茶の生産・販売促進を行っています。【飯田市農業課】
15	鼎	産建	・(域産域消については)伊那市の直販ファーム・喬木農協(A・コープ喬木店)・とよおかマルシェに行って研修してきた方が良い。飯田市も事業者やJAと協力して地産地消を進めるべき。	委員会として行いました市内スーパー24店舗の調査結果からも、域産域消を更に推進するため「地元産コーナー」の配置や看板、ポップ等を検討し、消費者、企業、生産者の意識向上につなげていくことが必要と考え、委員会として提案を行いました。いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、現時点では次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

				・域産域消の取り組みにつきましては、学校・保育園給食への地元産農産物の使用や、域産域消の食育店の認定や連携した取り組みを行っています。 ・今後も先進地の情報等を収集し、関連機関と連携して域産域消の取り組みを進めてまいります。【飯田市農業課】
16	鼎	産建	・妙琴公園は、冬でも多くの人々がキャンプに来ている。無料だから来るのか不明。風致公園としてキャンプを中止するのか決めてほしい。本当にキャンプ場として整備するのか。そうであればトイレの整備が必要。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・リニア建設工事が終了後、再整備を行うこととなっており、これまで地域と将来構想の検討を行ってきましたが、リニア開業が延期されたことから、再度、地域の意見を聞きながら将来構想の検討をします。【飯田市維持管理課】
17	鼎	産建	・(妙琴愛護会)のメンバーが皆高齢になった。今後も活動してもらえるのか。この先は無理ではないか。指定管理は事業として成り立たないと手を上げないので難しいのではないかと考える。市から支援をもらわないと維持管理できない状況にある。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・他の公園等の愛護会からも同様の相談も寄せられており、愛護会活動の継続には課題があると認識しています。愛護会組織が継続できる仕組みや支援について検討してまいります。【飯田市維持管理課】
18	鼎	産建	・空き家対策については、自治会の研修で八戸市の「屋台村みろく横丁」へ行ってきた、新幹線の駅ができたとき、市が土地を用意して特に若者の起業希望者を募集して3年間貸し出す、食材は地元産に限り、7年で市内に移転してもらう取組は参考となる。 飯田市の中心市街地はシャッター街になっている。動物園はあっても魅力がない。市として、八戸市の例を検討すべきだ。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・市では、空き店舗を活用した新規出店者に対し「飯田市空き店舗活用推進事業」により、空き店舗の改修費や家賃への補助金交付により支援しています。また、工業課では、サテライトオフィス誘致策として、中心市街地への開設も補助対象としており、引き続き誘導を図っていきます。 ・引き続き市内への新規出店者を呼び込み、域産域消・地域内経済循環につながる仕組みづくりや、チャレンジショップの可能性などを検討していきます。【飯田市商業観光課】
19	西部	産建	・地域の資源になり得る物は、とあるが、地元のブランドとは何か。飯田には統一されたブランド名はある	地域内経済の循環を考えた時、ブランド化や地域資源の活用、外貨獲得は大変重要な視点と認識しています。議会としても調査・研究をさせていただきます。いただ

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

			のか。山梨にある甲州ブドウのように、耳慣れたブランドがあるのか。南信州ブランドといった広い視点でのブランド化が必要ではないか。 ・知名度を得る為にも「南信州産～」というような地域産品をブランド名としてはどうか。 ・観光は、外貨を稼ぐ資源となる。この地域には西部山麓沿線に様々な観光資源があり、地域有志が手弁当で維持管理を行っている。飯田市へも観光資源の見直しなど要望を挙げているが遅々として進まない。行政として観光を生かす取り組みを進めて貰いたい。	きましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・当市は、多様で魅力的な地域資源が数多くあることが特徴で、飯田のよさを一言で伝える言葉を見つけるが難しいと考えています。ただ、例えば、「飯田水引」は伝統工芸品として、広く地域のブランドとして認知されており、当市の認知度向上につながっています。 ・「南信州産」といった地域のブランド名は、地域の特徴を強調し、地域性を発信することができ、地域全体の認知度も高まることが期待できます。ここ最近では、例えば「南信州シードル」としてPRし普及してきているところです。・地元の特産品や観光資源を活用した「南信州産」を、観光客や外部に向けて発信することで、さらには地域ブランドが確立するよう検討していきます。 ・西部山麓エリアは、豊かな自然をはじめ多様な資源が各地域により守られ、地域づくりへの活用が進められていることから、現在市では、代表的な資源の観光活用の方向性を整理したビジョンを策定しています。 ・ビジョンでは資源の特色を明らかにし、特色を活かした観光活用によって各資源が持続していく、連携することでエリア全体の魅力向上につなげられるように地域・関係団体等と連携・協働して進めていきます。【飯田市広報ブランド推進課、飯田市商業観光課】
20	西部	産建	・福井県へまちづくり委員会研修で行って来た。・伊賀良地区との比較をしながら研修を受けたが、伊賀良地区には地域の魅力を発信している場所が無いと気づいた。 ・伊賀良には伊賀良の庄という文化や、西部山麓、沢城湖、様々な観光拠点はあるが、伊賀良自治振興センターへ来ないとその情報は得られない。・りんごの里に観光バスは来る。であれば、りんごの里の壁面の一部へでも情報発信板のようなモノを設置し情報発信をしたらどうか。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・市が行う飯田インター周辺での観光案内に関しては、高速バス伊賀良発券所内においてオンライン案内所を運営しています。ブース内では、専用機器を使ったオンラインによる対面式案内をはじめ、観光情報 Web サイト(南信州ナビ)の閲覧、パンフレット設置、パネル展示による情報発信を行っています。 ・引き続き、利用者の声を聴きながら適切な案内ができるよう努めてまいります。

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

			・更に、ボランティアで地区を案内したり説明したりする方を配置すれば、地域の観光案内所になるのではないか。 ・上殿岡区の自治会加入率が 50%を割り込んだ。若い人は市役所職員も未加入のままである。世代ごとの組合加入率のデータ集約をしてみてもどうか。 ・試験的に上殿岡区自治会を無くしてどうか。地区自治会を無しにした場合、市で管理が出来るのか。どうなるのか試してみてもどうか。	・組合加入率は、まちづくりに参加する市民の割合を示す指標の一つと捉えています。市では時代の変化を踏まえ、各世代の考え方や認識にスポットを当てる取組として、これまでの組合加入促進事業を継続するとともに、今までの概念(組合加入・未加入)や地域の慣例に捉われない、これからの時代に合わせた隣近所の付き合い方「ゆるやかなつながり」の検討を進めます。 ・自治活動組織(まちづくり委員会、自治会、区、組合等)は、地域を良くする取組を行うコミュニティです。みんなが笑顔で暮らせる元気なまちづくりを、地域に暮らす皆さんで支えています。市は、この市民主体の住みよいまちづくりを推進するため、自治振興センターを中心に、引き続き、支援していきます。【飯田市商業観光課、飯田市地域自治振興課】
21	西部	産建	理解しづらいテーマが多々ありました。	議会報告・意見交換会にご参加いただき、ありがとうございました。参加いただいた皆さんが、より意見交換しやすい環境となるように、内容を検討し開催させていただきます。 引き続き議会へのご理解をお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】
22	北部	産建	・JA職員として地元農産物の販売状況を説明する。直売所は人気で、朝から行列ができて地元農産物への需要を感じているが、量が限られ、午前中で品薄のものもある。生産者が直接納品しているため、需要と供給バランスが課題。 ・シルクホテルから地元産を全て使用したい要望があり、「およりてファーム」を拠点に、対応・納入してきた。アナログ対応からシステム化のため、飯田市が「まちの八百屋システム」を立ち上げ研究を進めているが、本格運用のためには、マーケットが小さい、流通と納品、集荷が課題となっている。 ・学校給食や飲食店は、安いものを求める傾向があるため、生産者は、他の出荷先を選択してしまう。	さまざまなお立場でのご意見をありがとうございました。いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたと、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・民間農産物直売所の課題につきましては、行政の立場で申し上げることは控えさせていただきます。 ・「まちの八百屋システム」は南信州地産地消推進協議会が立ち上げ、同協議会の会員である当市も取り組みに参画しています。取り扱い店舗の増加、農産物の種類、供給量、流通の整備等、課題は多いですが、地元で採れた農産物を地元で食することが観光で来られた方々の旅行の目的の一つになるように推進してまいります。 ・教育委員会と連携して地元産の農作物と有機農作物の導入拡大を目指してまいります。【飯田市農業課】
23	北部	総務	・エアコンがない集会所が今時ある。公共施設なので、市から補助を出してエアコンを入れてほしい。昔は使えたのに、宝くじの助成金を利用しようとしたが駄目だった。このため、エアコンのない集会所は熱中	コミュニティ助成事業の実施要綱は毎年度見直しが行われており、近年では公共施設へのエアコン設置は助成対象外となっています。 但し、認可地縁団体を取得した自治会等が所有(登記)する集会施設への助成は、現在も継続されています。

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

			症になるから、気温が高い時には使わないようにと市から説明があった。100 万円単位のエアコンなので、なかなか導入できずにいる。	認可地縁団体制度は、平成 3 年の地方自治法改正により開始され、市町村長の認可を受けることで法人格を取得し、不動産登記の登記名義人となることのできる制度です。(飯田市内では、約 4 割の自治会が認可地縁団体を取得しています) 詳細については、自治振興センターにご相談ください。【飯田市地域自治振興課】
24	北部	産建	・上黒田集落センターは応急避難所になっているが、耐震構造になっていないので、避難していてもつぶれてしまう。建て直すと一億円はかかる。避難所にするなら、まともな補助金を出してほしい。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・集会施設の整備に要する経費に対しては、飯田市集会施設整備事業の補助金を交付しています。 ・新築における補助額は、対象世帯等により3段階で規定されています。詳しくはお問い合わせください。【飯田市地域自治振興課】
25	南部	産建	宅地に隣接する赤線(桐林 2587-4)があり、購入したいと考えるのだが何とかできないのか。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・赤線に隣接する土地所有者から払下げの申し出があった場合に、道路としての利用実態がないことが確認できれば払下げを行っているので、担当課にご相談ください。【飯田市維持管理課】
26	南部	産建	・飯田市内の地形は、平坦な川路や段丘が多く道路も狭い竜東など、土地に合わせた農業形態を考える必要がある。(竜東では)若い人は勤めに出て、農業は老人が担う。一軒当たりの米の生産量は少量で販売経路に乗せられない。 ・伊賀良では、市田柿をスイーツに加工しているところがあると聞く、農協では、加工品などへの取組はあるのであろうか。 ・都会の人から見ると人口密度が高くなければ商売に結びつかないのではと指摘された。道路などのインフラ整備を市として考えていただきたい(道路整備	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。なおご意見をいただきました、空き家の増加、山の荒廃につきましては、議会としても課題として認識しています。現在、空き家の調査や里山の整備等、地域の皆様にご協力をいただいている現状ですが、国の法改正や県の制度を視野に入れた調査・研究をさせていただきます。一方で空き家の活用については、移住定住を視野に入れた一層の展開が必要と認識しています。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・当市の農業は地域によって様々な気候、地形などの環境に適合した耕作が行われていることを承知しています。そのため、中山間直接支払制度等、地域に見合った支援策を講じてまいります。 また、水田の一枚あたりの面積が小さく、自給米が中心で販売農家が少ない状況

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

			によって人口が増えるのではないか)。 ・川路も人口減少で空家が増え、山が荒廃してきている。将来的に(荒廃防止策を)議会でも対策を考えてほしい。	であることも承知しております。今後、地域で耕作拡大意欲が高まり、構造改善などの要望がありましたら、庁内関係部署と調整を図りながら対応してまいります。 ・みなみ信州農協の取り組みの詳細につきましてはみなみ信州農協にてご確認ください。 ・市田柿ブランド推進プロジェクト(飯田市、JA みなみ信州)では、毎年12月から域産域消の食育店に協力いただき市田柿を使ったお料理等を提供していただく、「市田柿の日PRキャンペーン」を実施しています。 ・リニア駅周辺や三遠南信自動車道と各地域を結ぶ道路の整備を、国及び県と連携し事業を進めます。 ・リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を見据え、市内の地域間を結ぶ道路の整備、産業振興、観光周遊、交通結節点等へのスムーズなアクセス向上を図るため、地域住民の生活や経済活動の基盤となる幹線道路整備を計画的に進めます。 【飯田市農業課、飯田市土木課】
27	南部	産建	・三ヶ日のミカンは農協がしっかり管理している。(市田柿の)品質のばらつきがないように管理しているが、高齢化でキッチンと品質管理が難しくなってきたので、共同化の検討が必要ではないか。農業機械も高くなってきたので新しく導入するのにハードルが高い。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・市田柿は生産団体や販売事業者、行政などで構成する「市田柿商標・GI管理委員会」や「市田柿ブランド推進協議会」で、国内外における商標及びGIの管理や市田柿生産工程管理、品質の維持管理を担い、市田柿ブランドの価値の保護や向上を図っています。 ・今後の市田柿生産規模の確保、品質の維持については、関係団体等と連携して対策を講じてまいります。 ・農機具導入への支援につきまして補助制度を用意していますので、農業課へご連絡ください。【飯田市農業課】
28	南部	産建	・野底山の水力発電はすごい。上郷地域まちづくり委員会とおひさま進歩の共同で運営していると聞く。どのくらい発電量があるのか。飯田市には他に発電所はあるか。発電所の建設費はいくらか。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・発電事業者は野底川市民発電株式会社(おひさま進歩エネルギーの関連会社)になります。飯田市の地域環境権条例の活用事業として、売電収益の一部を上郷地域ま

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

				ちづくり委員会に寄付し、野底山森林公園の整備などに充てられているほか、発電所の見学など、上郷小学校での環境学習にも活用されています。想定発電量は2,120MWh、総事業費は6億円程度とお聞きしています。 地域環境権条例活用の小水力発電については、この他に伊賀良井用水の事業があります。【飯田市ゼロカーボンシティ推進課】
29	竜東	産建	・熊の駆除を真剣に考えてほしい。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】
30	竜東	産建	・熊の駆除はできないか。8月に猪の捕獲檻に熊が入り、遠くに開放したが、駆除ができないのは安全面から不安である。	・ツキノワグマの捕獲は、鳥獣保護法、長野県策定のツキノワグマ保護管理の計画に基づき、県から許可を得て行っています。 ・地元からの要望・情報等により県へ申請し、許可を得てクマ用の捕獲檻を設置し捕獲しています。引き続き、長野県と情報共有を行い、連携し対応を行っていきます。 ・捕獲許可がない場合やクマ用以外のわなへ捕まった場合は、錯誤捕獲(違法)となるため、放獣しなければなりません。
37	竜東	産建	クマの捕獲の強化	・クマ被害対策として、引き続き広報等により、果樹の残渣や生ごみの適正な処理、人の生活圏とクマの生活圏の間に緩衝帯を設けるための藪払い等による見通しの確保、クマの生活圏や緩衝帯付近における朝夕の行動は控えるなど、協力をお願いしていきます。【飯田市林務課】
31	竜東	産建	・大雨などの際に発生する倒木による広域農道(虎岩)の通行不能に対し、近隣の住民が自己の道具で復旧を図り早期の通行止めの解消するケースが多々ある。作業中の負傷等の保障や補助金などの行政の支援はないか市へ要望した経過があるが、明確な回答がなかった。下久堅虎岩区長が市政懇談会で発言している。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・飯田市ふるさと道普請事業補助金交付要綱(以下、「ふるさと道普請」)により、まちづくり委員会の認める公共的団体(常会、部会等)が自らの労務により、市の道路・河川・水路に関して、道路工事・側溝工事・用排水路工事・道水路維持管理を行う場合に、資材費・機械損料・燃油料・損害保険料を補助金として交付しています。 ・下久堅地区まち懇において、「緊急時の対応に地区が行う作業をふるさと道普請の対象とできるかどうかを考え、地区の行う市道の防災対策に支援できる方法として、しっかり検討してまいりたい。」と回答しています。 ・ふるさと道普請では、事前に交付申請書を提出する必要がありますが、ご要望のあ

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

				った緊急時の対応も補助対象となるよう、事後申請(交付申請と実績報告を兼ねて提出)を可能とする要綱の改正を行い、令和7年2月1日から施行しています。【飯田市土木課】
32	竜東	産建	・道路管理や景観保全について高齢化が進み自治組織だけでは対応しきれない。中には地区を跨いで活動するボランティア団体がある。育成のためにも、その活動の実費弁償ぐらいは行政が支援できないものか。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・ふるさと道普請により、市の道路・河川・水路に関して、道水路維持管理(日常的、定例的な除草、しゅんせつ等は除く)を行う場合にも、資材費・機械損料・燃油料・損害保険料を補助金として交付しています。【飯田市土木課、維持管理課】
33	竜東	産建	・千代地区では以前「地域振興住宅」があり、若い方の定住が促進された経緯があったが現在制度がない。若者夫婦は親と同居する選択肢しかなくなったことで、移住者がいなくなった。10月下旬に千葉から移住相談の来訪がある(保育園見学)。飯田市は空家活用を推奨しているようだが供給がない状況。千葉からの移住希望者への対応ができない。何とか対応できないだろうか。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・地域振興住宅の整備については、今後、空き家の利活用を促進する中で各地区の実情を踏まえて判断してまいります。移住希望者の住宅確保については、引き続き、個々の要望に応じて、地域や事業者の協力を得ながら支援してまいります。【飯田市結いターン移住定住推進課】
34	竜東	産建	・移住定住策にてショート体験を希望する方がいるがその方々が2週間程度滞在する住宅がない。お試し住宅的なものが行政にて準備できないか。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いいたします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・多くの移住相談を受ける中、相談者は、地元住民や先輩移住者との交流や、そこで得られる暮らしの情報を望まれる傾向があります。当市では、結いターンシップ事業(仕事と暮らしのお試し体験)により、市内の宿泊施設に宿泊した際の補助制度を用意し、地域等と連携しながら、地元住民も交えて、実際の暮らしを体感していただく機会をつくっています。移住者向けのお試し住宅は、令和2年度から運用していますが、その実態を踏まえ、利用状況や管理、経費等を勘案し、検討が必要と考えています。【飯田市結いターン移住定住推進課】
35	竜東	産建	有害鳥獣(クマ、シカ、イノシシ等)対策について、中山間地域では大変な課題であり、農地等の保全とともに	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

			に、活動への支援や対応を検討いただきたい。	引き続き議会へのご理解をよろしくお願いします。【飯田市議会産業建設委員会】 ・当市における鳥獣による農業被害金額は減少傾向ではありますが、竜東地域については特にイノシシ被害がまだ多い状況です。 ・農作物の野生鳥獣被害は、農家の耕作意欲減退や遊休荒廃地化を進める原因となりますので、各地区の鳥獣対策協議会や猟友会と連携して対策を強化していきます。 ・野生鳥獣の耕作地への侵入防止のための防除柵、電気牧柵の設置への支援を行っておりますので、ご活用ください。【飯田市農業課】
36	竜東	総務	日赤奉仕団の状況・課題が理解できて良かった。 まちづくり委員会・地域づくり協議会も日赤も役員選出・負担に苦勞している共通点があり、連携して取り組みれば良い策ができるかも。	議会総務委員会においても、組織間の相互理解と連携強化について課題と認識しており、行政に対して支援・協力をを行うよう提言を行いました。【飯田市議会総務委員会】
38	飯田5地区	産建	・大休～妙琴原へ抜ける自転車専用道路があるが、管理が行き届いていないため、自転車はもとより歩く事も出来ない。再整備はするか。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いします。【飯田市議会産業建設委員会】 道路管理者である飯田建設事務所に確認したところ、「管理については建設事務所にて点検を行い管理に努めています。お気づきの点があれば飯田建設事務所まで情報提供をお願いします。」との回答を得ました。尚、再整備の計画は現時点では無いとお聞きしております。【飯田市国県関連事業課】
39	飯田5地区	産建	社会全体が動かないと地方も変わることができない構造的な問題については「市や市会議員の仕事ではない」と言っていないで、全国の市町村・都道府県で国への提言を議決するなど行動を起こすべきだ(国は放っておいて変わるものではない。)。	貴重なご意見をありがとうございます。社会構造上の問題とはとても広い分野をご指摘していただいていると認識しますが、飯田市議会では、例えば昨年9月議会において「地方財政の充実・強化を求める意見書」を議決し、国の衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣に対して意見書を提出しています。これは国と地方の構造上の課題、地方の財政需要を訴えた内容になります。今後もいただいたご意見を受け止めさせていただき、飯田市議会としての取り組みを考え、行動してまいります。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いします。【飯田市議会産業建設委員会】
40	飯田5地区	産建	自走型ロープウェイ Zippar を、リニア駅・動物園駅・文化会館駅・石灯ろう駅を作って走らせたらお客が来そうです。	いただきましたご意見を飯田市の担当部署に伝えたところ、次のとおり回答がありましたのでお伝えします。 引き続き議会へのご理解をよろしくお願いします。【飯田市議会産業建設委員会】

令和6年度 議会報告・意見交換会に寄せられた意見等のうち、年度内にまちづくり委員会等へ回答するとしたもの

				自走型ロープウェイ Zippar については、現時点では研究試験段階であり、導入には建設費や運用費の課題があります。今後のリニア駅からの二次交通の検討においては、Zippar も含めた様々な交通手段から実現性を想定した検討を進めていきます。【飯田市リニア推進課】
--	--	--	--	--